ともにあゆむ

ともにあゆむ裁判を支援する会ニュースNo２９
発行:支援する会事務局　Tel&Fax624-5997
２０１３年２月２１日発行

「ともにあゆむ集会２０１３」で勝利への決意かため

２月２日（土）労働会館で開いた「ともにあゆむ集会２０１３」には、愛知県下あちこちから４２名の方たちに参加していただきました。

最初に参加者に「今日ぜひ聞いて帰りたいこと」についての発言を受け、それをふまえながら梅村さんが裁判に至るまでの経過について、具体的な資料も使いながら話しました。

兼松弁護士・水谷弁護士からの、裁判の争点と今後の流れについて報告を聞いたあと、参加者から発言をしてもらいました。

１月２０日に結成された「支援する南生協職員ＯＢの会」代表の菊池さんからは、次々とうつ病で休職し、消えるように退職する事務職員があとを絶たず、心配しても職員全体が情報を制限されてバラバラに分断されている職場ではどうしようもないという南医療生協の実態が語られました。

「裁判について聞いてはいたが、南生協がどうなっているのか知りたくて参加した」という組合員さんも、「今日の話を聞いて、やっと納得がいった。裁判にはなんとしても勝利しましょう！」と力強い発言がありました。

「この裁判は、梅村さん個人の問題ではなく、民主的医療機関だけでなく民主的職場全体にも関わる大事なたたかい。がんばりましょう」との発言もあり、勝利への決意をかためる団結がんばろうで締めくくりました。

国民救援会の大会でも訴え

２月９日には名古屋南支部で、１０日には天白支部で、国民救援会の大会が行われました。梅村さんも参加してきました。

貴重な時間をいただいて、どちらでも裁判支援の訴えをさせてもらい、「南医療生協は労働組合への『不当労働行為』を続けていて、心や身体を病んで、使いつぶされている職員がたくさんいる事実を知ってほしい。みなさんが安心してかかれる南生協であるためにも、労災を認めさせて、職場の改善に繋げていきたい」と労働組合の労働委員会に対する救済命令請願署名への協力も合わせて訴えました。

次回裁判　ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。

3月19日（火）午後1時30分　名古屋地方裁判所2階201号法廷

※裁判後、桜華会館１階「八重桜の間」にて、報告交流集会を行います。

弁論準備もあと2回、いよいよ証人尋問へ

２月１３日には、第１４回目の弁論準備が行われ、３１名の傍聴者に参加していただきました。

今回は、原告から準備書面（２０）と、証人申請の申立書を提出しました。

書面（２０）では、前回に引き続き、退職直前の梅村さんの体調と「リハビリ勤務」の妥当性について被告の主張への反論を述べています。

その内容は「線維筋痛症という病気にはいくつかの分類があり、梅村さんの場合は発症の経過や、主治医が梅村さんは『うつ型の線維筋痛症である』とカルテに記載してあることからも、うつ病と無関係であるとは言い難い。そうした梅村さんの病気に対する理解や本来あるべき復帰支援を受けての『リハビリ勤務』であれば復職可能であった。また、たとえ復職可能な状態でなかったとしてもそのことでもって『自然退職』とすることは他の判例に照らしても妥当ではない」というものです。

原告からの証人は、菊池啓子さん（元南医療生協看護師・ケアマネ）、足立くみ枝さん（元南医療生協組合員・患者会役員）、梅村さんの父、安井宏一さんと原告梅村さんの４名で申請をしました。

裁判長からは、「次回被告からの書面での反論が出されたら、次々回くらいには書面でのやり取りは終了という予定で」と話があり、初夏には法廷での証人尋問が始まりそうな見通しです。

署名へのご協力ありがとうございます。
１月２２日現在で
裁判所あて　１０３８２筆
南生協あて　１００５０筆
と、目標を突破しました。
引き続き、裁判勝利まで集めますので、よろしくお願いいたします。

弥富市「裁判の話を聞く会」に26名

２月１８日（月）、梅村さんの実家弥富市で開かれた「裁判の話を聞く会」には、冷たい雨が降る中２６名もの方たちが参加してくださいました。

梅村さんを小さな頃から知る人たちは、「大変な身体なのによくがんばっとるねぇ」「子どもが未熟児だったので、昔からお世話になっとったけど、リニューアルの頃からなんだかおかしくなったね」「絶対に勝たないかんね」と、温かい激励の発言がたくさん出ました。

ホームページとブログができました

やっとですが、「支援する会」のホームページと、梅村さんのブログができあがりました。

ホームページでは、梅村さんが退職した時に「このまま消えるようにいなくなりたくない。いままでの出会いとつながりに感謝の気持ちを残したい」と就職してからの２１年間を振り返って作った冊子「ともにあゆむ」や、提訴からいままでのニュースなども見れるようになっています。ぜひ、ご覧ください。

ＨＰ　http://www.ab.auone-net.jp/~tomoni/　　ブログ　http://blogs.dion.ne.jp/tomoniayumu/